

●推進体制

1 重点取組に基づく研究

本校区は、令和元年度より、江田島中学校区で「道徳教育改善・充実」総合対策事業（メニュー2）の指定を受け、研究主題を「自他ともに大切にする児童生徒の育成～小中9年間を見通した道徳科の授業づくりと評価を通して～」とし、江田島中学校を推進校として、切串小学校、江田島小学校との連携の促進並びに児童生徒の発達の段階に応じた実践研究を行ってきました。

今年度は、研究主題を継続しつつ、児童生徒の発達の段階を踏まえ、児童生徒の評価の視点を生かした道徳科の授業改善に重点を置いて取り組みを進めています。

○今年度の重点取組

（1）児童生徒の発達の段階を踏まえた授業づくり

- ・価値項目、主題解釈、教材解釈の吟味

（2）ねらいを明確にした指導と評価の一体化

- ・具体的なねらいの設定
- ・期待する児童生徒の変容の具体的な姿（Before→After）の設定

4月に校区校長会を開催し、今年度の校区の重点取組を設定した。設定した重点取組を各校の道徳教育推進教師が周知する等、職員への共有を図った。

2 道徳教育推進リーダーを中心とした推進体制

本校区では、各校の教頭と道徳教育推進教師で組織する江田島中学校区事務局会を立ち上げ、道徳教育推進を図っています。さらに、校区の3校（江田島中学校、切串小学校、江田島小学校）の道徳教育推進の中心的な役割を担う、江田島中学校区道徳教育推進リーダーを位置づけています。（図1）

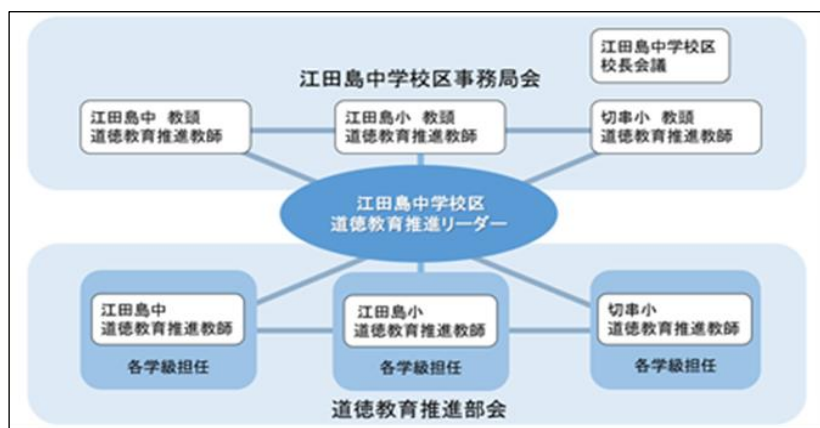


図1 推進組織図

江田島中学校区道徳教育推進リーダーは、校区の道徳教育推進の中心となり、研究の方向性や研究発表会の企画などを行っています。また、江田島中学校に籍を置き、毎週1回、切串小学校、江田島小学校へ訪問しています。訪問日には、各校の道徳教育推進教師と研究の方向性を確認したり、各校の担任とT.Tで授業を行ったり、次回の授業に向けた打ち合わせをしたりしています。